

BULLETIN OF THE FACULTY OF
HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No. 15 February, 2019

CONTENTS

Mami OMOTE : Current Situation of Home Economics Education in the Republic of Malta.....	1
Takeshi SAKAI, Hideyuki AKAI : Development of Math Lesson with Knowledge Activation through Programming	11
Masaaki NANBA, Risa HASEGAWA, Mutsumi MURATA : A Study of Musical Notation of Melodies Focusing on Musical Representation —Practice and Investigation of Musical Notation for Beginners of Piano Learning—	23
Yasushi MATSUOKA, Honoka KOTANI : Development of Active —Learning Class in Social Studies Using the Digital Textbooks	37
Shuji MITOBE : Current status of German language education at the basic school stage in Berlin	47
Junji MIYANO : Reform of Science Education in German Primary School and Kindergarten —A Study on the Continuity of Learning—	55
Naoko MURAI : Reflection delivers reconsideration educational philosophy : ALACT model provides student teachers' reflection on their teaching practicum experiences.....	69
Keiko ARAKAWA : Toward a theory of “classical music” performance culture in contemporary Japan Part 1.....	81
Nami GAHABKA : Über die Intervalle der Atemtechnik —Wahrnehmungen zu Abständen und Zeitintervallen in Judo—	91
Tomoko DOI : A Fundamental Study of Musical Vocabulary on R. Schumann's 《Davidsbündlertänze》 op. 6 —From the Viewpoint of Florestan and Eusebius—	101
Noriko OKABAYASHI, Hitomi SANO, Yasuko SAKAI, Makoto TSUJI, Motoko FUKAZAWA, Nao YAMASAKI : Using Japanese Music Instruments in Activities for Children's Expression for Kindergarten and Elementary School Music Classes	109
Tamana SESEKURA, Ayako OE : Students' Support Staff Training and Practice for Supporting Infants and Parents : Questionnaire Survey about University's Students' experience of Child Rearing	121
Makoto YANO, Hirotsugu TAZUME : Development of Teaching Materials Using the Formative Arts for Fostering Communication Skills in Child Carer Training : Students' Collaboration in “Mokuiku”.....	131

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 15 号

平成31年 2 月

表 真 美 : マルタ共和国における家庭科教育の現状	1
坂井武司・赤井秀行 : プログラミングによる知識活性型の算数科授業の開発 ..	11
難波正明・長谷川梨紗・村田睦美 : 音楽的な表象に着目した旋律の記譜に関する考察 —ピアノの初心者を対象とした実践・調査を中心に—	23
松岡 靖・小谷穂乃茄 : デジタル教科書を活用したアクティブ・ラーニング型 社会科授業の開発	37
水戸部 修 治 : ベルリン市の基礎学校段階におけるドイツ語教育の現状	47
宮 野 純 次 : ドイツ初等・基礎領域における科学教育カリキュラム改革 —学びの連続性の観点から—	55
村 井 尚 子 : 省察による保育観の問い直し ～ALACT モデルを用いた教育実習のリフレクションを 通して～	69
荒 川 恵 子 : 現代日本における「クラシック音楽」演奏文化論に向けて その 1	81
ガハプカ 奈美 : 呼吸法を用いた間合いについて —「柔道」の間合いに関する感覚—	91
土 居 知 子 : R. シューマン《ダヴィッド同盟舞曲集》Op.6における 音楽語法の基礎的考察 —フロレスタンとオイゼビウスの観点から—	101
岡林典子・佐野仁美・坂井康子・辻 誠・深澤素子・山崎菜央 : 領域「表現」と小学校音楽科をつなぐ和楽器を用いた活動の 試み	109
瀬々倉玉奈・大江文子 : 保育者養成課程における親子支援の実践と支援者教育 —赤ちゃんとの接触・育児経験に関する調査結果をもとに—	121
矢野 真・田爪宏二 : 保育者養成におけるコミュニケーション能力を育成する ための造形教材の開発Ⅲ —学生の“木育”によるグループ制作を通して—	131
平成30年度公開講座	139
修士論文・卒業論文題目	140

平成30年度 公開講座・シンポジウム

◆生涯学習講座 教育学科音楽教育学専攻

作曲家探求シリーズ① モーツァルト

5月25日（金）18：15～19：45 ①モーツァルトのピアノ曲の魅力を探る

講師 本学教授

土居 知子氏

6月26日（火）18：15～19：45 ②モーツァルトの和声法—その美しい響きの仕掛けを探る

講師 本学准教授

佐藤 岳晶氏

7月27日（金）18：15～19：45 ③モーツァルトの歌曲の魅力を探る

講師 本学教授

田中 純氏

◆大学院 こころの相談室公開講座 7月14日（土）14：00～17：00

不登校の子どもの気持ち・親の気持ちとその支援

講師 奈良女子大学研究院生活環境学系教授

伊藤美奈子氏

講師 本学准教授

稲塚 葉子氏

◆発達教育学部特別支援教育シンポジウム 11月10日（土）13：30～17：00

『通常の学級』における特別支援教育

シンポジスト 京都市教育委員会指導主事

山本さおり氏

大阪市教育委員会指導主事

能勢 由美氏

東洋大学教授

滝川 国芳氏

京田辺市立三山木小学校教諭

谷村 亜美氏

枚方市立春日小学校教諭

福永 紗弓氏

総合司会 本学教授

谷川 至孝氏

◆児童学科公開講座 12月1日（土）10：00～11：30

子育てに迷うあなたにとどけたい—おとなの絵本の時間—

講師 本学准教授

瀬々倉玉奈氏

平成30年度

大学院発達教育学研究科 修士論文題目

〈教育学専攻〉

- 石田 遥 奈 現代社会の「生きづらさ」と「自尊感情」の在り方に関する研究
～「生きづらさ」の「個人の問題」からの脱却を目指して～
- 小谷 穂乃茄 ICT社会における小学校社会科学習指導法の再構築
—デジタル教科書に焦点づけた効果的な活用方略の検討を通して—
- 西澤 智 算数科の図形領域における児童の審美性認識に関する研究
- 平井 千晴 市民活動からみる地域に住むすべての子どもを対象としたまちづくり
—多機関協働に着目して—

〈心理学専攻〉

- 小池 友莉 予防的ペアレント・トレーニングの有効性の検討
—親子の行動観察を取り入れた効果測定—
- 長野 愛 発達障害児を持つ母親の子育てレジリエンスと育児ストレスに関する研究
- 前田 紗彩 ストロール検査は認知機能低下に対するスクリーニング検査として有用か
- 松田 有希子 看護師における被援助志向性がワーク・エンゲイジメントに与える影響
- 山尾 彰子 愛着スタイルと自己開示が幸福感に与える影響
- 山口 亜希子 抑うつにおける注意制御機能向上についての実験的検討

〈表現文化専攻〉

- 藤井 正子 保育士および幼稚園・小学校教員養成課程におけるピアノ指導に関する一考察
—読譜の指導・調査を踏まえて—
- 松山 千葉美 S. ラフマニノフ ピアノ独奏作品に見られる音楽的特徴について
～《楽興の時》Op. 16を中心とする初期作品の分析を通して～
- 安永 文音 「書く力」を向上させるための指導のあり方に関する研究

注) このリストは平成31年1月19日に提出された修士論文題目に基づいて作成しています。

平成30年度

発達教育学部教育学科 卒業論文・制作題目

教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
浅井美樹	小学校音楽による階名唱の指導について —固定ト唱法と移動ト唱法の取り扱い—	(難波)
池田杏	読書力向上のための授業構想	(水戸部)
石田毬乃	キャリア教育の必要性	(谷川)
和泉志帆	【卒業制作】創作絵本『ふよふよのおさんぽ』(対象 3～5歳児), 『はく、大きくなったら…』(対象 小学低中学年) 【報告文】自己肯定感を育む絵本の研究	(山野)
因幡優希	小学校低・中学年児童の読書を經由した語彙力の育成	(水戸部)
猪尾有希	学校司書の役割と専門性に関する考察	(岩槻)
岩佐真奈	【卒業制作】「関心を学びにつなぐ生き物マット」 【報告文】児童の自然体験を促す環境づくり	(山野)
岩崎絢香	小学校外国語科における活用力を育成する単元開発 —他教科とのクロスカリキュラムの作成を通して—	(松岡)
上野春奈	協同性を高める「総合的な学習の時間」のカリキュラム開発 —伊予の小京都大洲市を事例にして—	(松岡)
植村優華	小学校教育におけるネイチャーゲームを活用した授業づくり	(宮野)
宇野真里子	乳幼児期・小学校期における発達障がい児の支援の在り方	(福永)
大串杏子	算数教育におけるESD教材の開発	(坂井)
大下詩乃	部活動の教育的意義	(内海)
太田あすか	有田和正の授業方略に基づく小学校社会科の単元開発 —興味・関心を高める単元導入部の工夫を通して—	(松岡)
大橋亜弥	児童生徒への特別支援教育の在り方	(村井)
大道理沙	乳幼児期の人間関係における保育者の支援	(村井)
岡田紗英	ゲームの教育的意義	(内海)
岡田奈桜子	自己肯定感を育む学級経営 —“ほめ”を視点にした学級活動年間計画の作成を通して—	(松岡)
岡村優花	子どもたちの遊びの実態とその意義に関する考察 —これからの社会を生き抜く力の育成のために—	(岩槻)
小栗はるか	小数のあまりのある除法の指導に関する研究	(坂井)
柿田桜	小学生を対象とした「茶育」	(表)
嘉喜山和	女子大学生の衣服選択に影響を及ぼす要因	(表)
金崙美冬	障害児のきょうだいに対する支援のあり方に関する考察	(岩槻)
亀野聡美	多様な価値観を受け入れる力を育成するためのドラマ教育	(宮崎)
川浪佐知子	豊かな自己肯定感を育む学級活動 —互いを認め合う活動と教育コーチングを通して—	(富村)

卒業論文題目

木谷美貴	女子大学生におけるデートDVの現状	(表)
北村春果	「子どもの貧困」から見る地域づくりの必要性	(谷川)
木原こみち	ESDに向けたアプローチ —実践行動経済学の視点を交えて—	(内海)
木村真弓	方言教育の意義とその課題を踏まえた授業構想	(水戸部)
木村美沙	日本社会におけるLGBTに関する課題と学校教育におけるLGBT教育・支援	(谷川)
熊井菜都美	幼小連携 —小1プロブレムの克服—	(谷川)
熊木侑蘭	小学生における足形成と保護者及び教師の靴への意識の関係性	(大橋)
栗生遥花	見積りの活用による推定力の育成に関する研究	(坂井)
栗岡美都	算数教育における創造的思考の育成に関する研究	(坂井)
鋤崎奈月	インクルーシブ教育における学校と地域	(谷川)
小谷優奈	ESDの理念に基づく「総合的な学習の時間」の授業開発 ～小学校第6学年単元「二条城のひみつ」の場合～	(松岡)
小寺史織	「共食」と発達との関わり	(表)
近藤桃佳	郷土愛を育む「総合的な学習の時間」のカリキュラム開発 ～宇和島闘牛の教材化を通して～	(松岡)
後藤美南	グローバルな視点からの筆算指導に関する研究	(坂井)
雑賀真生	オルタナティブ教育の可能性 —子どもの幸せを中心に据えて—	(村井)
齋藤佳子	子どもたちに確かな学力を育成するための創作文指導における課題と実践構想	(水戸部)
佐賀愛美	言語能力の育成 ～ことば遊びの視点から～	(水戸部)
佐々木佳奈	諸外国との比較から鑑みた日本の発達障害児教育のあり方	(岩槻)
塩路真歩	特別支援教育における推論する力の育成に関する研究	(坂井)
島田芽実	源氏物語における理想的な授業構想の追求	(水戸部)
白澤梨奈	女子大学生の祖父母・孫関係	(表)
住田麻衣	音楽科における日本の伝統的な音楽の取扱い —こきりこ節を題材とした民謡の指導—	(難波)
盛山海帆	地域環境に適した自然体験活動の充実 —カリキュラムマネジメントを意識した授業実践のあり方—	(宮野)
十川文音	校則の現状と課題 —その教育的役割—	(内海)
高田鈴奈	グローバルな教育経験と教科指導力の関係に関する研究	(坂井)
高橋真帆	【卒業制作】「もくもく筆算ブロック」 【報告文】筆算が苦手な児童を支援する教具の製作	(山野)
高橋みなみ	「チームとしての学校」におけるつながりの在り方	(谷川)
高橋梨沙	動物飼育活動を通した命の教育	(宮野)
滝川美絵子	バスケットボール時における5本指ソックス着用の効果についての研究	(大橋)
竹内史夏	小学校における姿勢教育の実践的研究	(大橋)
武居真央	夢や希望を育む係活動 —キャリア意識を高める話し合いの場を通して—	(富村)
田島桃子	【卒業制作】「児童が構成する多目的スペース」 【報告文】川崎市環境教育を進める教科横断学習の一提案	(山野)
田中亜希	算数教育におけるプログラミング活用に関する研究	(坂井)
田中彩水	歴史的な見方・考え方を育てる歴史学習の授業開発 ～第6学年単元「長く続いた戦争と人々の暮らし」の場合～	(松岡)
田中久瑠美	英語教育とICT	(福永)
田辺千晶	ストレスマネジメントができる児童を育てる学級活動 —学習活動と日常生活とのつながりに着目して—	(富村)

谷 尚 子	現代の給食をめぐる諸問題	(内海)
谷 野 由 佳	教育現場に関するメディア報道とその影響 —ある小学校の事例研究より—	(森)
玉 川 佳誉子	日本の民謡を教材とした音楽教育の可能性	(難波)
茶 木 紀依子	小学校における教科横断的農業体験	(表)
辻 林 香 穂	算数教育における問題解決方略に関する研究	(坂井)
津 守 美 幸	絵本からの学びとは —はらぺこあおむしを事例として—	(内海)
寺 島 朱 音	幼児教育におけるインクルーシブ教育	(村井)
徳 田 千 咲	ガールスカウト活動の教育的意義に関する考察	(岩槻)
徳 田 有 美	女子大学生の生活実態	(表)
中 川 あかり	望ましい教育評価のあり方 —指導と評価の一体性及び客観性をめぐって—	(森)
中 島 梨 宝	学校教育における自然体験活動の重要性	(宮野)
中 西 史 佳	「伝統と文化」を大切に育める心を育てる社会科授業の開発 —源氏物語を中心とした平安時代の教材化を通して—	(松岡)
中 根 優 花	学校・地域・企業の連携による ESD の効果	(宮崎)
中 矢 有 香	日本の難民の教育 ～ミャンマー難民、ソマリア難民との比較を通して～	(内海)
灘 ほとる	小学校音楽におけるソルフェージュ教育について	(難波)
西 尾 夏 菜	ラオスの初等教育と日本の国際協力の取り組みに関する考察	(岩槻)
野 口 早 紀	読解力向上に関する授業構想 ～PISA 調査と全国学力・学習状況調査から考える～	(水戸部)
野 村 彩 萌	【卒業制作】「親子あんしん歓迎マーク」 【報告文】 ニーズを結ぶシンボルマークの試案 —小さなこどもの外出を楽しむ街にするために—	(山野)
橋 口 麻 美	わらべうたを扱った保育の可能性	(難波)
濱 美 涼	合意形成能力を高める集会活動 —違いや多様性を互いに認め合う話し合いを通して—	(富村)
林 汐帆美	並行読書による読解力向上の期待と授業構想 読者論・PISA 調査の視点から問題を見つけ、考える	(水戸部)
番 作 佳 菜	郷土の良さを学ぶ道徳教育	(表)
彦 野 有 紀	就職採用選考において重視される能力	(宮崎)
平 方 里 奈	チーム学校と学生ボランティア —家庭・学校・地域の連携を目指して—	(森)
平 林 万 奈	小学校音楽科における器楽活動の授業づくり —インクルーシブ教育理念とユニバーサルデザインの視点を踏まえて—	(難波)
安 藤 梨 花	待機児童問題解消に向けて —「企業による保育」の可能性—	(谷川)
福 田 真梨乃	南部アフリカ・ザンビアにおける教育課題の現状 ～アフリカ諸国との比較と文化の関連性について～	(内海)
前 田 智 子	「居場所」としての公共図書館のあり方に関する考察	(岩槻)
牧 野 柚 季	自己肯定感の高い児童を育む集団宿泊学習 —振り返りを共有する事前・事後学習を通して—	(富村)
正 木 結 貴	高等学校の国語科における探究的な学習	(村井)
松 井 桃 子	高め合い、認め合う教員集団 —教職特性と組織文化の関係から—	(森)
松 島 聖 奈	主体的・対話的で深い学びができる理科の授業 —実験の充実を通して—	(宮野)
美 浦 菜 絵	在日韓国朝鮮人の歩みから考える多文化共生	(宮崎)
宮 内 美 優	他教科を生かす「総合的な学習の時間」の在り方	(宮崎)
宮 岡 さくら	学級経営の視点を踏まえた合唱指導の可能性	(難波)
宮 川 真 季	【卒業制作】 創作絵本『こいぬのはなちゃん』 【報告文】 幼児の想像力を高める絵本の制作 —コラージュ技法を用いて—	(山野)

卒業論文題目

宮 木 彩	理科における ICT を活用した授業づくり	(宮野)
宮 下 智 絵	通常学級に所属している自閉症スペクトラムを抱えた児童への支援と教育の在り方 についての考察	(岩槻)
妙 木 優 菜	英語教育の在り方	(村井)
椋 本 虹 帆	オランダの教育 —イェナプラン教育—	(福永)
村 井 茜	鍵盤ハーモニカの学習を中心とした器楽活動について	(難波)
目 片 奈 々	異文化理解教育と国際バカロレア	(宮崎)
森 萌 加	日本の雇用形態・社会制度と子どもの貧困	(谷川)
森 尾 晃 子	子どもの育ちを支える学級経営 —ソーシャル・キャピタルの視点から—	(村井)
森 本 彩 夏	小学校の授業に活用できるネイチャーゲームの可能性	(宮野)
安 川 由 紗	規範意識を育む学級活動 —「ルールをつくる・実践する、振り返る」話し合い活動 を通して—	(富村)
矢 田 歩	主体的に話し合う力を育む学級会の事前学習 —高学年の発達段階に応じた計画委 員会をもとに—	(富村)
矢 田 優 菜	【卒業制作】 創作絵本『ことばのおくりもの』、『ありがとう』 【報告文】 生きる力を育てる絵本の研究 —言葉の力に着目して—	(山野)
梁 川 千 尋	発達障がいと自尊感情の低下について	(宮崎)
山 口 奈都美	自己肯定感と自己有用感の関連性についての研究	(福永)
山 口 真 梨	よりよい人間関係を築く力を育む学級活動 —相手の考えを受け入れたり自他を大 切にしたりする話し合い活動を通して—	(富村)
山 田 侑 奈	ディズニーの工夫から学ぶ 修学旅行プラン	(宮崎)
吉 岡 真 帆	自己有用感を育む教育 —自尊感情と自己有用感の関係性に着目して—	(村井)
吉 川 夏 実	「あいさつ指導」の教育的効果について —京都女子大学附属小学校の事例を中心 に—	(森)
脇 田 世里菜	子どもの主体性をのばす家庭学習のあり方 —「自主勉強」の実践事例から—	(森)
磯 田 汐 里	いのちの教育 ～かけがえのない「いのち」をみつめ大切にしていこう～	(福永)
小 足 真 由	【卒業制作】 布絵本『おふろだいすき』 【報告文】 物語絵本の仕組みを活かした布絵本の制作	(山野)
高 橋 祥 季	バイリンガル教育の新しい考え方 —トランスリンガル教育の視点と実践—	(森)
成 松 真 衣	子どもの遊びの役割と変遷 ～外遊びの現状と課題～	(福永)
松 本 佳奈子	特別支援教育のあり方 ～インクルーシブ教育の実現に向けて～	(福永)

心 理 学 専 攻

学 生 氏 名	卒 業 論 文 ・ 卒 業 制 作 題 目	所 属 ゼ ミ
井久保 緩 奈	女子大生における自尊感情が否定的な自己開示に与える影響	(片岡)
井 谷 詠 夢	注意の柔軟性と不安の関連	(箱田)
伊 藤 結 衣	選択的注意と分割的注意における視覚的注意機能特性	(箱田)
稲 葉 くるみ	ユーモアスタイルが対人ストレスユーモアコーピング及び対人ストレスに与える影響	(吉村)
井 上 優 香	女子大学生の友人関係と居場所感、友人関係満足感について ～中学時代と現在と の比較を通して～	(稲塚)
井 上 理 沙	友人関係の特徴が女子大学生の LINE のやりとりの認知に及ぼす影響	(稲塚)
岩 城 萌 実	オノマトペ表現と理解の発達の研究	(広瀬)

植木 菜央	香りに対する印象と好みに関する研究 —バニラ・グレープフルーツ・ラベンダーの香りの比較—	(吉村)
江口 奈津子	自己没入傾向が転換性注意機能に及ぼす影響	(箱田)
大鳥 菜帆	怒り対処スタイルにおける怒り反すうおよび抑うつ反すうについての検討	(下津)
大橋 あゆみ	課題の難易度と提示方法が時間評価に及ぼす影響	(広瀬)
岡部 詩帆	特別支援学校教員の教員年数、指導文化および児童生徒への指導のあり方とストレスの関連	(片岡)
奥井 香帆	女子大学生の変身行動の消費心理 —賞賛獲得欲求と拒否回避欲求との関連性—	(下津)
加古 茉奈美	過敏性自己愛傾向および誇大性自己愛傾向が青年のふれ合い恐怖心性に及ぼす影響について	(稲塚)
亀田 みなみ	幼児の遊びへの評価に対する間接的性的ラベリングの影響 —「かっこいい」「かわい」に注目して—	(松浦)
河合 真希	幼児の遊びと「心の理論」の発達の関連	(松浦)
木村 眞子	対人関係の積極性がユーモアにどのように関連しているのか	(下津)
久下 詩織	大域処理・局所処理に気分が及ぼす影響	(箱田)
小池 巴梨	女子大学生の母親への親密性が娘の心理的自立に与える影響について	(稲塚)
小山 由佳	自閉症傾向とメロディーの認知	(箱田)
後藤 理咲子	パーソナリティ特性が嘘つき行為における認知的負荷に及ぼす影響	(箱田)
佐伯 理恵	Enthusiasm が主観的幸福感及び本来感に与える影響について	(稲塚)
坂井 志帆	大学生のストレス状況下における認知的評価とレジリエンスが主観的健康に与える影響	(岩原)
重元 郁実	昆虫嫌悪に影響を及ぼす要因の検討	(片岡)
島村 彩愛	女子大学生の痩せ願望とメディアとの関連性について	(下津)
清水 佳歩	空想傾向が精神的健康に与える影響	(岩原)
菅 郁美	神経症傾向とネガティブな反すうが入眠困難に与える影響	(岩原)
鈴木 万結	青年期のリスクテイキング行動と楽観性の関連	(下津)
高家 美和	他者情報による印象の変化 —内集団と外集団の比較—	(吉村)
高垣 花菜	快・不快音による感情変化と自律神経の関係	(岩原)
高倉 望	情動の評価と共感性の関連	(松浦)
高田 有芽	パーソナルカラーが対人魅力に及ぼす影響	(吉村)
竹内 万貴	カテゴリーの幅とメンバーの典型性がカテゴリー群化におよぼす影響	(広瀬)
武田 京子	説得における反復と圧力が受け手の受容と抵抗に及ぼす影響	(広瀬)
橘 綾美	女子大学生における学童期の母子関係と人格形成の関連	(片岡)
田中美帆	女子大学生における月経前症候群との関連 —セルフ・コンパッションによる緩衝効果—	(岩原)
谷 彩可	提示モダリティ、挿入課題およびルアー語の連想強度が虚再認に及ぼす効果	(広瀬)
谷口 梨緒	公的自意識と自己呈示が化粧行動に及ぼす影響	(吉村)
寺石 美夢	ユーモアとストレスコーピングとの関係性	(岩原)
寺本 汐里	女子大学生における反すうと生きがい感の関連性の検討	(片岡)
出川 万祐子	漢字学習の効率化を目的とした学習方略の検討	(片岡)
中井 恵里佳	日常生活演技行動と社交不安傾向の関連について	(下津)
長田 萌	女子大学生の部活動経験とソーシャルスキルとの関連について	(片岡)
中坪 透子	SNSの利用と孤独感の関連	(松浦)
中野 夏海	母娘間の関係と互いの呼び名との関連について	(松浦)

卒業論文題目

中 村 瑠 美	女子大生の回想する児童期の家庭内食事場面のタイプ分けと親子の心理的結合性の 関連について	(片岡)
中 山 奈穂子	レジリエンスと主観的幸福感、ソーシャル・サポート、自己肯定感との関連性	(吉村)
中 山 友 花	運動習慣によるレジリエンス・感覚処理感受性への影響	(岩原)
長 野 そよ香	女子大学生における瘦身願望とセルフ・コンパッションとの関連	(岩原)
新 谷 美 晴	アサーションスキルと余暇時間の活用方法の違いが、大学適応感に及ぼす影響	(下津)
堺 和 沙 苗	醜形恐怖心性が孤独感および身体満足度に与える影響	(吉村)
長谷川 未 怜	グローバル・ローカル処理特性を測る主観的・客観的テストと自閉傾向	(箱田)
林 ひかり	持続的注視が漢字の選択課題に及ぼす影響	(箱田)
平 岡 みなみ	顔の再認における言語隠蔽効果の検討	(広瀬)
福 井 智 花	ソーシャル・サポート、セルフ・モニタリングおよび呈示対象の違いが自己呈示に 与える影響	(吉村)
藤 原 志 緒	リベレーション効果における discrepancy-attribution hypothesis の検討	(広瀬)
堀 内 あかり	ユーモア表出動機が精神的健康に及ぼす影響について —ユーモア表出動機とユー モア表出の形態との関連にも着目して—	(稲塚)
増 井 涼 菜	自己愛傾向と原因帰属様式の関連について	(下津)
松 岡 廣 子	母親からの言葉かけが自尊感情や再確認傾向に与える影響について	(片岡)
三 浦 桃 子	青年期における親子関係が「居場所」に及ぼす影響	(松浦)
森 祐希南	不快な夢がストレスに及ぼす影響 —神経症傾向の人格特性、ストレス、不快な夢 との関連—	(下津)
山 崎 彩 香	女子大学生における月経時の対人ストレス及び私的自己意識への評価の関連性の検証	(岩原)
山 田 かなる	容姿に対する否定的評価と自己愛の関連について	(稲塚)
山 田 小百合	若年女性のストレスとストレス・コーピング及び PMS 症状との関連	(下津)
横 山 愛	グローバル・ローカル課題の実施が人物判断に及ぼす影響	(箱田)
渡 邊 柊	観察者羞恥と共感性および特性不安との関係	(広瀬)

音楽教育専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
石 井 芹 奈	ドビュッシー《映像第2集》より〈葉蔭をもれる鐘の音〉〈金色の魚〉に関する一 考察	(大谷)
石 原 茉 優	中学校音楽科でポップス曲を扱うことの教育的効果	(関口)
市 田 栞	東京デイズニerland・エレクトリカルパレード・ドリームライツの音楽について ～4度のリニューアルの特徴～	(田崎)
今 村 優 花	F.シューベルト〈ガニュメート〉の演奏表現	(田中)
内 堀 百里子	《水辺より》について	(佐藤)
大 江 祥 子	R.シューマン《ミルテの花》Op. 25より No. 1〈献呈〉No. 3〈くるみの木〉No. 24〈君は花のようだ〉の一考察	(ガハブカ)
大 橋 菜 月	セルゲイ・ラフマニノフのピアノ奏法に関する一考察 ～《楽興の時》Op. 16を題 材に～	(土居)
岡 尾 彩 音	ナチス政権下におけるドイツの音楽家 —反ユダヤ社会との関連性—	(田崎)
奥 田 彩 香	音楽科教育における ICT 技術の活用 —視聴覚教材との比較を視点として—	(関口)

小田島 爽 夏	オペラ《マノン・レスコー》よりアリア〈この柔らかなレースの中に〉〈一人捨てられて〉	(田中)
音 田 真 陽	1830年代前半におけるロベルト・シューマンとクララ・シューマンの互いの音楽的影響について —ロベルト・シューマン《トッカータ》op. 7とクララ・シューマン《ロマンティックなワルツ》op. 4を題材に一	(土居)
加 地 奏 絵	グノー作曲《春の歌》とオペラ《ファウスト》より〈宝石の歌〉の一考察	(ガハブカ)
川 尻 歩野佳	クラリネットとピアノのための主題と5つの変奏曲《春の訪れ》について —シューベルトの作品から着想を得て—	(佐藤)
坂 元 美 友	シベリウス《ピアノ・ソナタ》作品12に関する分析 —『カレワラ』との関係について—	(大谷)
澤 田 倫 子	2.5次元ミュージカルの諸相に関する一考察 —《テニスの王子様》と《薄桜鬼》を題材に一	(田崎)
塩 見 春 香	トスティ《アマランタの4つの歌》より第1番〈そっとしておいて！一息つかせて〉Lasciam! Lascia ch'io respiri、第2番〈暁は光から影を分ける〉L'alba separa dalla luce l'ombraについての考察と歌唱表現	(田中)
下 村 帆乃楓	自作曲 チェロとピアノの二重奏曲《夢幻》について ～ロシア音楽の要素を踏まえて～	(佐藤)
高 階 優	バーンスタイン作曲《キャンディード》より〈着飾って、きらびやかに〉について	(ガハブカ)
高 屋 亜友美	中学校吹奏楽の課題 ～全日本吹奏楽連盟との関わりを視点として～	(関口)
武 内 沙 耶	ベリーニ作曲 オペラ《夢遊病の女》より アリア〈ああ、信じられない〉、〈この胸の喜びを〉について	(ガハブカ)
田 中 美 紗	歌曲集《沙羅》より〈丹澤〉、〈あづまやの〉、〈沙羅〉、〈ゆめ〉の歌唱表現	(田中)
田 中 理 土	ドイツ第三帝国における正統な音楽の捉え方 —音楽政策とその影響の一考察—	(田崎)
寺 川 和 希	A. スクリャービン《24の前奏曲》Op. 11に関する一考察 —F. ショパンの作品との関連性を踏まえて—	(大谷)
土 永 葵	中学校におけるリコーダーの効果的な授業の在り方	(関口)
中 井 彩 加	ニコライ・カプースチン《ピアノ・ソナタ第1番》(ソナタ・ファンタジー) Op. 39及び《8つの演奏会用エチュード》Op. 40に関する一考察	(大谷)
中 村 玲 子	オペラ《オロンテア》より〈Intorno all' idol mio〉《4つのリーリカ》より〈Sopra un' aria antica〉について	(ガハブカ)
西 川 果 那	ホルンとピアノのための4つの小品《花暦》をめぐって —日本の四季の要素を踏まえて—	(佐藤)
乗 末 優 貴	シャプリエ《絵画的小品集》より〈風景〉〈即興曲〉に関する一考察	(大谷)
橋 本 佳 奈	ヴァイオリンとピアノのための幻想曲《激流》について	(佐藤)
林 亜 柚	《彼は誰時》について	(佐藤)
原 優 奈	オペラ《ドン・バスクワレ》より〈あの目に騎士は〉について	(ガハブカ)
日 野 彩 香	Franz Schubert 演奏表現の可能性の一考察 ～《3つのピアノ曲》D946 Nr. 1を題材に～	(土居)
平 林 美 波	中田喜直《日本のおもちゃうた》より Ⅲ 〈お手玉とおはじき〉Ⅳ 〈海ほおずきと少年〉Ⅶ 〈紙風船〉	(田中)
牧 野 実 希	日本と米国のマーチングについての比較	(関口)
味 谷 佳 奈	モーツァルト《幻想曲 ハ短調》K. 396の演奏表現に関する考察 —関連作品との比較を通して—	(大谷)
宮 下 結 衣	日本の音楽業界におけるCD/DVD・書籍の流通に関する調査研究	(田崎)

卒業論文題目

三好 萌 夏	F. ショパン 《ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調》Op. 58に関する一考察	(土居)
村田 友理佳	トイレ用擬音装置の可能性 ～心地よい音と不快な音との相違点に着目して～	(関口)
森下 いぶき	F. ショパン 《バラード4番》Op. 52に関する一考察	(土居)
吉本 千華	フォルマシオン・ミュージカル実践の一考察 ～セルゲイ・ボルトキエヴィチ作曲 《Lyrica Nova》Op. 59を題材に～	(土居)
渡邊 絵理奈	YouTube が若者に促す音楽行動について —聴取から拡がる行為に関する調査研究—	(田崎)

平成30年度

発達教育学部児童学科 卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・題目	所属ゼミ
青山 奈緒	映画『となりのトトロ』の音楽的特徴 — 《さんぽ》・『となりのトトロ』のリズムに注目して—	(岡林)
赤尾 梨佳	子ども向けコンサートにおける司会の役割について	(神原)
蘆田 菜保子	レオ・レオニの絵本に描かれたねずみ	(松崎)
池田 麻衣	音の出る絵本に関する一考察	(岡林)
石田 千尋	幼少期の両親の食関連行動と子どもの偏食との関連性	(古池)
石田 瑞稀	瀬田貞二の絵本における言葉のリズム	(松崎)
井尻 帆乃佳	ロック・フェスティバルの実態とその魅力 — RUSH BALL を手がかりに— 共同研究者：15222019奥田明日香	(神原)
泉 千雅子	姿勢の良し悪しと筋肉量及び体力の関係	(新矢)
稲葉 彩佳	きょうだいの構成や関係性が被服に関する意識と行動に与える影響 — 姉妹の関係性を中心とする検討—	(古池)
井上 すう	早口言葉の面白さに関する一考察 — 『ういらう売りせりふ』をもとに—	(岡林)
岩崎 菜ノ子	『赤毛のアン』が日本で愛された理由	(今田)
岩村 綾子	ムーミン童話9作品の作品研究	(松崎)
岩本 麗花	親子間におけるコミュニケーションを育む布絵本 「たべもののわくわくえほん」	(矢野)
内田 桃佳	ミュージカル『テニスの王子様』における音楽とドラマ性	(神原)
蛭原 千尋	ドラえもんの世界とその魅力	(神原)
江見 円花	幼児を対象にした人形劇の制作 — 人形劇「おかえし」—	(松崎)
大森 千晶	子どもと共に楽しむ合奏曲の編曲 — 打楽器を中心に—	(神原)
岡村 玲芳	女子大学生の化粧行動と生活に対する満足度との関連性について	(倉本)
奥田 明日香	ロック・フェスティバルの実態とその魅力 — RUSH BALL を手がかりに— 共同研究者：15222007井尻帆乃佳	(神原)
奥野 文華	木と触れ合い創造性を育むパズル積み木 「つめ～る積み木」	(矢野)
奥本 結子	子どものうたを題材とした布絵本の制作	(神原)
小笹 可南子	マザーグースを知らなければ2つの「アリス」は楽しめないのか？	(今田)
小野寺 美月	エドワード・ゴッリー — ルールで遊ぶ人生と絵本—	(今田)
各務 真依	歩行発達を促す木育玩具 「あるくるま」	(矢野)
加護 穂香	食卓における保護者の言葉かけが及ぼす幼児の偏食への影響	(森)
笠木 理紗子	女子学生におけるインターネット依存と睡眠および食行動との関連性 共同研究者：15222075西川由芽	(間瀬)
梶田 沙織	身近な木を感じ人とかかわる力を育む玩具 「つくってすごろく」	(矢野)
片山 栞	女子大生の発達障害に関する認識の変化について	(倉本)
加藤 帆乃夏	女子学生における月経前症候群に関する調査	(間瀬)
加藤 陽	出生時の体格と体力・運動能力との関係	(森)
神谷 梨沙	幼少期における養育者の養育態度及び養育者を介した仲間経験が女子大学生のパフォーマンスに与える影響	(古池)

卒業論文題目

亀井 麻里奈	女子学生における住居形態と食習慣との関連性	(間瀬)
亀田 梨帆	運動機能の発達を育む木の遊具 「てくてく」	(矢野)
加茂 みきこ	『となりのトトロ』の作品分析 —子どもの体験と安心感という視点から—	(今田)
川島 実来	障がい児保育における加配保育士の援助について —子どもの状態や園の取り組みとの関連— 共同研究者：15222049澤亜友子	(倉本)
河南 早紀	吃音児の就学前・後のサポートのあり方	(倉本)
木倉 由貴	自転車こぎ運動および足浴における体温変動の比較	(新矢)
久保 千紘	大学生の学外経験における学び ～学生キャンプカウンセラーの記録にみる気づきの分析を通して～	(上月)
久保 晴佳	保育者による子どもへの言葉かけ —4歳児でのいざこざ場面の観察を通して—	(瓜生)
栗原 佑花	聴覚や視覚を促す木のおもちゃ 「いろのなるきー」	(矢野)
桑島 花奈	保育におけるマンドリンのポシビリティー —幼稚園と保育園での実践から—	(岡林)
近藤 菜々子	マイメロディが愛され続ける理由 ～株式会社サンリオが目指すソーシャルコミュニケーションとは～	(今田)
近藤 万裕	就寝前のカモミールティーの摂取が睡眠の質に及ぼす影響	(新矢)
阪田 久実	子どもの遊びをさそう園庭の構成について	(瓜生)
櫻井 直	ヴァージニア・リー・パルトンの作品の特徴と作品に込められたメッセージ —7冊の絵本を通して—	(今田)
佐々木 梨花	健常児・障害児における就学支援について —ツールの利用・実施の実態から考える効果的な方法—	(倉本)
佐藤 日向子	障害児スポーツへの参加の目的と満足感 —保護者から見た実態—	(倉本)
澤 亜友子	障がい児保育における加配保育士の援助について —子どもの状態や園の取り組みとの関連— 共同研究者：15222035川島実来	(倉本)
塩川 小梅	出生順位と性格の関連性 —幼児の魚釣りペア・ゲームの実験から—	(瓜生)
芝田 奈津美	絵本『もりのなか』の音楽制作 —エレクトーンと絵本の融合をめざして—	(神原)
清水 菜央	幼児・児童期の遊び経験が体力・運動能力や健康に与える影響	(森)
白岩 真称	USJの音環境の多様性 —サウンドウォークの方法を用いて—	(岡林)
鈴木 千遥	絵本に描かれるピーマンの特徴 ～主にピーマンの性格とストーリーに着目して～	(上月)
鷺見 優佳	女子大生の自我同一性と母娘関係との関連について	(瓜生)
清家 暁美	人形劇の制作と付随する音楽の適切性	(神原)
千田 菜緒	水族館の音環境について	(神原)
高田 彩友	女子大学生におけるメンタルヘルスと食行動および運動習慣との関連性	(間瀬)
瀧 菜緒子	私立幼稚園教諭の私的な子育てへの思い —インタビュー調査を中心に—	(瀬々倉)
武智 美穂	中学校及び高校での子どもと子育てに関する教育が女子大学生の子ども観・子育て観に与える影響	(古池)
田中 里奈	保育園における「気になる子ども」の話し合いについて	(上月)
谷口 美紗樹	併行通園に関する療育施設と保育施設との連携の実態 —保育施設への聞き取り調査から—	(倉本)
爲定 加那香	女子学生における骨量と生活習慣因子との関連性	(間瀬)
知念 沙紀	紅型 戦後の復興と継承	(黒田)
堤 史津絵	抱擁がもたらすストレス軽減効果	(新矢)
津村 真由	女子大学生における痩せ願望と食行動および甘味に対する態度との関連性	(間瀬)
寺林 千絵	絵本の読み聞かせが幼児の想像力に及ぼす影響 —文字あり絵本と文字なし絵本を比較して—	(古池)

外村 莉穂	スポーツ経験が青年期女子のパーソナリティ形成に与える影響	(古池)
富永 佳穂	現在の障害児・者に対する態度と接触経験、障害理解教育の関連について	(倉本)
富森 敦美	女子大学生のファッションと子供服に対する購買意識	(森)
中津川 玲	エーリヒ・ケストナーの児童文学作品が伝える子どもの可能性	(今田)
中野 萌々香	子どもの利き手と母親の養育態度・性格の関連性 ―母親の教育指導性・同調的対人態度に着目して―	(古池)
中村 彩花	絵本に描かれる屠畜表現 ～幼年期のいのちの教育を考えるにあたって～	(上月)
西川 由芽	女子学生におけるインターネット依存と睡眠および食行動との関連性 共同研究者：15222026笠木理紗子	(間瀬)
西野 友美	子どもの育ちとわらべうた ―幼稚園と絵本の読み聞かせ会の実践から―	(岡林)
西村 真璃花	食への興味を育む玩具 「ままごとフルーツセット」	(矢野)
白間 美帆	東京ディズニーランドにおける音と音楽の魅力	(岡林)
服部 美里	子どもの音楽療法の現状と課題	(神原)
林 綾音	乳幼児期における遊びや習い事などの生活習慣が児童期の体力・運動能力に及ぼす影響	(森)
林 咲苗	母親の養育行動と娘の予期的養育行動との関連性 ―母親の養育行動に対する娘の認知・評価を媒介として―	(瓜生)
林 弘佳	色のイメージを自由に育む絵本 「しろくろくんといろのまち」	(矢野)
馬場 麻以	母親と父親の養育態度が子どもの社会性に与える影響の比較 ―共感性・自己主張に焦点を当てて―	(古池)
東 愛海	親子分離と幼児の言動	(瀬々倉)
平田 陽香	情報の提示スタイルが迷子紐の印象に与える影響 ―twitter、LINE、新聞スタイルの比較を中心に―	(古池)
平塚 春香	ウォーキングによるストレス軽減の効果	(新矢)
廣瀬 由里子	手の巧緻性を高める布おもちゃ 「できるかな？」	(矢野)
福井 優夏	リズム遊びにおけるピアノの役割 ―5歳児での実践をもとに― 共同研究者：15222105山下佳奈	(岡林)
藤崎 紗英	犯罪被害少年の実名報道の是非	(黒田)
堀池 真有	小学校における異文化理解教育 ―その課題と指導案の提案―	(黒田)
前川 嘉奈子	運動・スポーツ嫌いの要因に関する一考察	(森)
前川 由梨奈	親子分離による母親グループの語り合いの分析	(瀬々倉)
前田 愛実	感動体験が社会的動機に及ぼす影響	(古池)
松井 智紗	『クマのプーさん』の改訳に関する研究	(松崎)
松清 桜香	大学生の乳幼児に対するイメージの変容 ―「親子支援ひろば ぴっぱらん」を通して―	(瀬々倉)
三國 弘夏	かこさとしの科学絵本研究 ―「目に見えない世界」の描き方―	(松崎)
三邊 果歩	環境構成の意識に関する研究 ―幼稚園教育要領の変遷と幼児教育志望学生への質問紙調査から―	(森)
宮尾 耶々香	食育絵本の表現に関する考察 ―「ミリオンぶっく」の作品分析を通して―	(今田)
三宅 友子	乳児と大人のコミュニケーションを促進させるモビール 「ゆらりわーんど」	(矢野)
村瀬 まりあ	保育現場における打楽器の活用法 ―3歳児の手作り楽器の実践から―	(岡林)
村山 真凜	邦訳版『クマのプーさん』における文と挿絵の一体性について	(松崎)
屋敷 咲	現代女性の化粧とSNSの関連について	(黒田)
安井 千晴	電子管楽器を用いた子どもの歌の編曲	(神原)

卒業論文題目

山下 佳奈	リズム遊びにおけるピアノの役割 —5歳児での実践をもとに— 共同研究者： 15222089福井優夏	(岡林)
山下 由莉	「らくがきゲーム」における養育者間の相互交流 —動画分析を中心に—	(瀬々倉)
山田 涼華	ラーニング・ストーリーを用いた実習日誌の修正による子ども理解の変容	(上月)
山地 真璃奈	女子大学生における自己と動物のイメージ間の類似性と動物好意性・飼育志向性との関連 —自尊感情による関連の違いについての検討—	(古池)
山中 裕希	女子学生における骨格筋量と生活習慣因子との関連性	(間瀬)
山本 奈苗	マーシャ・ブラウンの絵本分析 —絵の描き方を中心に—	(松崎)
山本 瑞葵	食事バランスガイドから見る幼児期の栄養バランスの実態	(新矢)
山本 芽衣	想像力、共感性を育む玩具 「なかよしドールハウス」	(矢野)
山本 恵	女子大学生における食事内容が排便状況に及ぼす影響	(新矢)
吉田 啓乃	「沈黙」のイメージに関する研究	(神原)
吉水 理乃	環境に関わる意欲を引き出す木の玩具 「ほほえみ BOX」	(矢野)
米森 穂香	教員養成課程の大学生における児童虐待に関する意識について	(倉本)
渡部 真央	入学時と卒業時における学生の子ども理解に関する研究	(瀬々倉)

注) このリストは平成30年12月20日に提出された卒業論文・制作題目に基づいて作成しています。

〈投稿規定〉

- 第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。
- 第2条 本誌は、本学部の諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び発達教育学部の教育研究活動に関する情報、その他（以下、論文等という）を掲載する。
- 第3条 論文等の掲載は、教育学科教育学専攻、心理学専攻、音楽教育学専攻、児童学科の順に行う。
- 第4条 本誌への投稿資格は次の通りとする。
- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員。
 - (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
 - (3) その他、編集委員会が特に認めた者。
- 第5条 執筆者は、論文等の原稿提出に先立って、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の校閲を経ることとする。
- 第6条 論文等を本誌に掲載するにあたり、執筆者は他者の著作権等を尊重しなければならない。そのために必要な手続きは、執筆者が自ら行うこととする。
- 第7条 投稿された論文等の採否は、編集委員会によって決定する。
- 第8条 執筆者に抜き刷り30部を贈呈する。それを超える部数は実費負担とする。
- 第9条 本誌に掲載された論文等は、原則として全文又はその一部を電子化し、京都女子大学学術情報リポジトリサーバ或いはその他のコンピューターネットワーク上で公開する。
- 2 執筆者は、本誌に掲載された論文等の著作権のうち、複製権及び公衆送信権を京都女子大学に許諾する。但しこれらの許諾は取り消すことができる。
- 第10条 この規定は平成26年4月1日より施行する。

編 集 委 員

稲 塚 葉 子 今 田 由 香 大 谷 正 和
水戸部 修 治 (五十音順)

京都女子大学

発達教育学部紀要 第 15 号


平成31年2月5日 印刷

平成31年2月10日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 株式会社  同 朋 舎

